

道の駅への期待

石川日産自動車販売E V課
結城佳菜子

石川県には2014年度末で850台、北陸3県で約2000台以上の電気自動車（EV）が走っており、各市町村もエコツーリズムによる観光振興に力を入れています。県内に23ある道の駅のうち15年7月時点で充電器を設置しているのは10カ所なので、初期導入費不要スキームを紹介するなど、県内や北陸3県全駅への充電インフラ設置実現を目指しています。

金沢市は北陸新幹線開業以来、外国人も含めて大勢の観光客が訪れ、街中はレンタサイクルなどで観光できます。しかし、NHKの朝ドラ「まれ」の舞台、輪島へは電車、バス、レンタカーでしか行かれません。

人口3万人弱の輪島市ではEVでの来訪者受け入れのため真っ先に充電インフラの導入を決め、道の駅や観光施設に11カ所もの急速充電器があります。これまで、「電欠」が怖くてEVでドライブできなかった「能登」へも道の駅などに急速充電

素敵な出会いと発見の時間

リフォームが得意!!

Enjoy!
LEAF

ISHIKAWA

100% 電気自動車
登録・アフターサービス



器が増えたおかげで安心してドライブできるようになりました。

「航続距離が問題」といわれ続けたEVですが、急速充電器の普及で問題はほとんど解消しており、時間もお金も

気にしない自由気ままな「一般道・各駅停車の旅」の愛好者が今後どんどん増えると期待します。都会と地方の交流が活発になれば自然に人々の

■お知らせ

「道の駅への期待」は第2ステージに入った道の駅に対し、「わが社は道の駅でこんな事業を展開したい」「道の駅をこんな風に使っては」などのアピールを、主に企業や各種団体などに提案してもらおうコーナーです。その会社などを代表して、「個人」の考えをベースに持論を展開してもらいます。掲載希望の会社や団体は、本紙編集部 (info@route-press1.jp) までご連絡ください。

ありません。道の駅なら充電の時間を「退屈な待ち時間」から、「素敵な出会いと発見の時間」に変えてくれるからです。

日ごろ見落しがちな風景をのんびりとEVで楽しみませんか。道の駅でご当地ならではの自然食材を食べ、「ロハス」と「スローライフ」な石川県を満喫してほしいと願っています。

つながりも生まれ、地域の持つ素晴らしさが都会にも伝わると思います。

EVにとって「道の駅」ほど相応しいパートナーは